

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

- *新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。
- *ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。 <イベントについて>
- * 要申込 の表記がないイベントは申込不要です。
- * 有料 (材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
- * 要地 のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合は翌開館日から)電話 もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が 出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。

企画展「震災遺産を考える一次の10年へつなぐために一」関連イベント

見どころ解説会 定員100名・先着順 講堂 当館学芸員

①2021/1/16(±)13:30~14:00

22021/1/30(±)13:30~14:00

※2月以降の企画展関連イベントは、企画展チラシ及び次号のなじょなでご案内します。

ミュージアムイベント

おけんぱくクリスマスコンサート 要申込 (定員100名)

12/13(日)13:30~15:00/講堂

井上仁一郎さん(ギター)・榊原聡子さん(キーボード)・渡邊奈美さん(朗読) ※クリスマスソングやギターの名曲、お子さんも楽しめる絵本(『100万回生きたねこ』)の朗読も!

民俗ミニ映画会(全4回)

- ❸ 記録映像で見るふくしまのくらし ①鶏足神社の浜下り(66分) 12/20(日)10:30~/講堂/当館学芸員 定員100名・先着順
- ❸ 記録映像で見るふくしまのくらし ②中ノ沢こけし製作のわざ(25分) 2021/1/17(日)10:30~/講堂/当館学芸員 定員100名・先着順

※初公開も含む、貴重なふくしまの映像記録!

キッズ・ファミリー向けイベント

段 ワークショップ「おめんをつくろう」 ▼申込 (各回5グループ、1グループ4名程度まで) 2021/1/9(±)10:30~11:00 211:00~11:30

体験学習室/会津大学短期大学部幼児教育学科の皆さん

※自然の素材をつかっておめんを作ります。

てわざを楽しむ 実技講座

おいらむしにふれる~からむし縄のマスク作り~

要申込 (定員10名) 有料 (白マスク1,000円、色付きマスク1,200円)

2021/1/23(土) 13:30~15:00/体験学習室/加藤萌絵さん(からむし作家・研究生) 田嶋紀佳さん(からむし織研修生)

- ※からむしの手触りを楽しみながら作った縄を紐にするマスク作り。
- からむし糸でマスク生地への刺繍もできます。
- ※対象小学生以上、小学校低学年は保護者同伴でお申込ください。

ポイント展ミニ解説会

☎ ポイント展「チャレンジ!今月の古文書・正月編」ミニ解説会 定員100名·先着順

2021/1/29(金)13:30~14:00/講堂/阿部綾子(当館学芸員)

※常設展示室で開催中の、"くずし字"読みに挑戦していただくポイント展。その答え合わせをします!

より深く知りたい!聴きたい! 講座いろいろ

いまさら聞けないこづゆのアレコレ 要申込 (定員10名) 12/6(日)13:30~14:30/実習室/江川トヨ子(当館学芸員) ※こづゆ作り未経験者向けです。あるお宅のこづゆ作りをのぞいてみませんか?

やさしい焼きもの講座2-大堀相馬焼のいま・これから 定員100名·先着順

> 12/12(土) 13:30~15:00/講堂/小野田利治さん(大堀相馬焼協同組合理事長) ※テーマ展「ふくしまの焼きもの1」と連動した講座です。成形や釉薬などの技法や、

現在も生産地が帰還困難区域に指定されている大堀相馬焼のいま、これからを伺います。





詩人のいる博物館② 会津を語る、詩を語る 要判 (定員100名) 2021/1/31(日)13:30~15:00/講堂

和合亮―さん(詩人)、佐藤巖太郎さん(小説家)

※『会津執権の栄誉』の作者・佐藤巖太郎さんを迎えての注目の対談! 2021年1月5日から申込を受け付けます。

中面のクイズの答え:アー2 イー1 ウー3 ぜんぶ分かったかな?展示も見に来てね!

く中止になったイベント> 下記イベントは中止になりました。 12/12「実技講座 大堀相馬焼をつくろう②」

ラーフ展 山川浩と健次郎

2021年1月16日(土)~2月28日(日) 会場 常設展部門展示室「歴史・美術」

会津藩士の家に生まれ、東京帝国大学(現東京大学) 総長などを務めた山川健次郎。いつも懐中時計を手 もとにおいて規則正しい生活を心掛け、子どもたち にも時間を守ることの大切さを説いていました。 当館寄託の資料から山川兄弟に迫る本テーマ展。 健次郎愛用の懐中時計も展示します。お楽しみに。

*詳しい内容は、次号のなじょな(2・3月号)でご紹介します!

ポイント展

*ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。

・道具とくらしのうつりかわり一食事を彩る道具たち

- 11/27~2021/2/23
- *日々の暮らしを大切にする姿がそこにはありました。
- ・古代あいづの仏教文化―湯川村堂後遺跡― 12/12~2021/2/21
- *「寺」と書かれた土器からわかることは?
- ・チャレンジ! 今月の古文書 正月編 2021/1/5~1/31
- *江戸時代の"くずし字"解読にチャレンジ! お正月にちなんだ資料を出題します。 回答は1/29の解説会にて。
- ・サンゴ化石の世界
- 2021/1/30~3/5
- *澄みきった南の海のサンゴ礁…

化石を調べると、サンゴには5億年以上の歴史があることがわかります。

2020年12月・2021年1月イベントカレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
12	6	7	8	9	10	11	12
月	13	14	15	16	17	18	19
73	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

日月火水木金土 1 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 **23** 25 26 27 28 29 30

氷冷蔵庫

■常設展観覧料 一般・大学生280円(20名様以上の団体は220円)

■企画展観覧料「震災遺産を考える」一般・大学生500円(20名様以上の団体は400円)

*企画展チケットで常設展もご覧いただけます(企画展開催中有効)。

*高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。

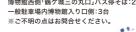
■年間パスポート 1,500円 購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展が 何度でもご覧いただけます。



■JR会津若松駅から約3km ・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分

(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ) ・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分 (鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

車椅子使用者用駐車場 博物館西側「鶴ケ城三の丸口」バス停そば:2台







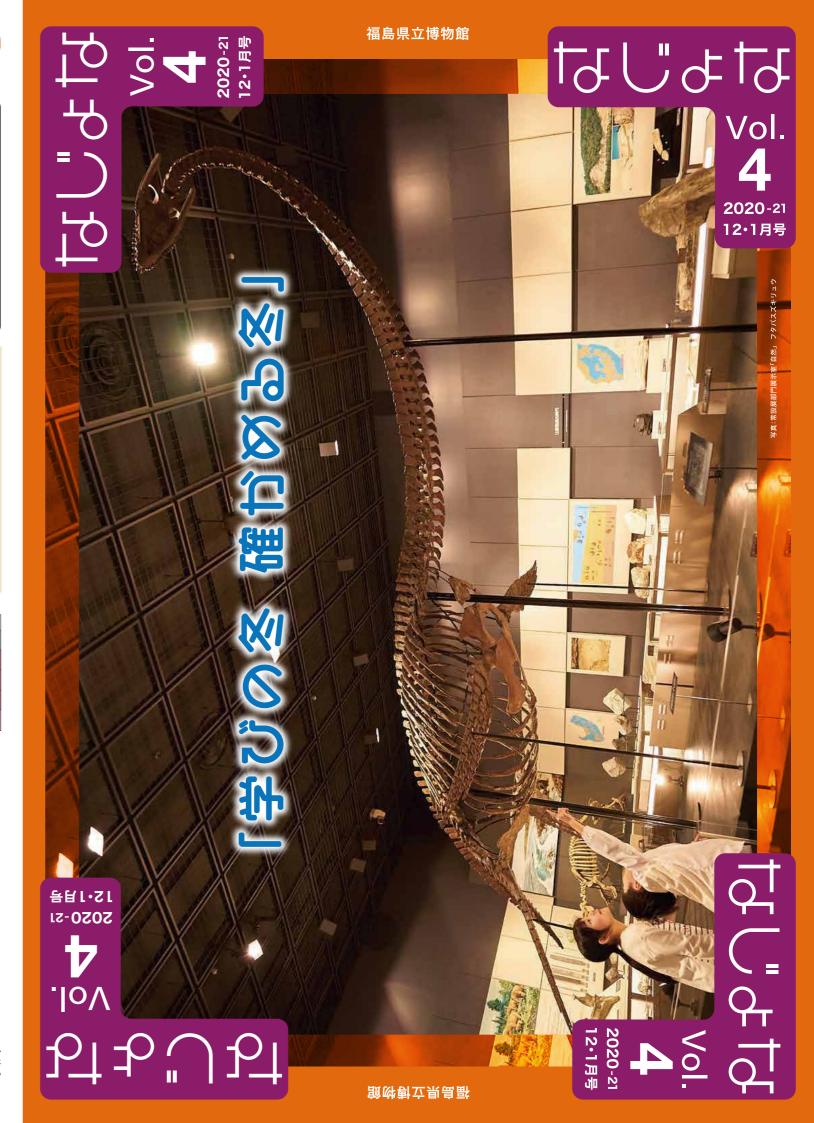


開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)

お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986 〒965-0807 会津若松市城東町1-25 HP https://general-museum.fcs.ed.jp e-mail general-museum@fcs.ed.jp

年が移り変わる時期になりました。2020年は東京オリンピックに沸くはずが、世界中がコロナウイル ス感染症に揺れた1年となりましたね。当館も、我々が出来る役割とは何か、深く考えさせられた1年 となりました。早い終息を願いますが、できる対策を行いながら、できることをしていきたいと思い ます。2021年が良い年となりますように。(A)

なじょなVol.4 12・1月号 2020年11月25日発行 発行/福島県立博物館



(ค和2年度 冬の企画展 震災遺産を考える一次の10年へつなぐために一

2021年1月16日(土)~3月21日(日)

東日本大震災の発生から10年がたちます。「震災遺産を考える」をテーマとして、当館ではこれまで、毎年特集展を開催してきました。

こうした積み重ねを踏まえ、今回は初めて企画展として展覧会をご覧いただきます。

震災遺産収集の背景や、収集にたずさわった学芸員の思いなど、新たな視点を加えた展示です。

本展を通して、これからの10年を一緒に考えてみませんか。







平成30年度特集展より(被災したパトカー)



平成30年度特集展より(南相馬市ヨッシーランド壁紙)







【Q1/展覧会のねらいは?】

展覧会が目指すキーワードは「自分事化」と「未来」です。展示をご覧になった方が、「ふくしまの経験」を自 分の事として身近に感じ、ご自身との対話の場としていただけるとうれしいです。東日本大震災という大 災害から、私たちは何を受け取るべきなのか。当館も手探り状態で考え続けてきました。当館が過去5回の 特集展のタイトルを一環して「震災遺産を考える」としてきたのは、こうした理由があります。簡単に答え が出ない問題だからこそ、「考える」場をつくり、これからの10年を皆さんと一緒に考えていける展覧会を 目指します。それで今回は副題を「次の10年へつなぐために」としました。

【Q2/今年は展示にあわせて"記録誌"ができます。その思いを一言。】 震災から10年が経過した今、これからの10年を歩むためにここで振り返ってみることが必要だと思い、 さらにこの振り返りの作業を内外へ伝えてゆくために、記録誌を作ることにしました。これは単なる 展示図録ではなく「震災遺産を考え」続けてきた、10年間の軌跡をまとめたものです。展覧会とあわせて、 ぜひ手に取って見てください。



【会場】企画展示室

【観覧料】一般・大学生 500円(20名以上の団体400円)/高校生以下無料

*企画展料金で常設展もご覧いただけます(会期中有効)。

【年間パスポート】1,500円

*ご購入日より一年間、当館の常設展・企画展(当館主催のみ有効)を何回でもご覧いただけます。

*企画展「震災遺産を考える」の構成や詳しい内容は、次号のなじょな(2・3月号)でご紹介します!





産出した化石です。中心の丸い部分からマラカスのようなものが生えていますね。実は原始的なウニで マラカスのようなものは棘なのです。残念ながら、棘が折れやすいためにあまり展示をする機会がありません 折れた棘の化石は南相馬市からも発見されています。なお、この仲間は今でも日本近海を含む海に生きていて、



美術で感じる季節 柳下放牛図

令和3年の干支は丑。みなさんの牛のイメージはどのようなものでしょ 貴重な財産とも考えられてきました。そのため奪われる恐れなく牛が野に 放たれている姿は、平和の象徴とされてきました。

よくまとめ、安寧の空気感をよく伝えています。

のんびり、ゆったり、のびのびと。そして全ての人が平和に過ごせる令和3年 になりますように。(小林)*注意:展示はしていません。紙面でお楽しみください。

柳下放牛図 佐竹永海筆 江戸時代後期 当館蔵





ねえねえマッキー!マッキーは「カゴ」「ザル」って

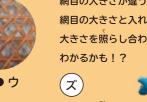
さかなを獲るときに使ったことがあるよ! いっぱい捕まえたな~。

え?「カゴ」「ザル」の編み方って全部同じ

入れるものによって、「カゴ」や「ザル」の編み方が



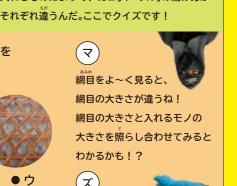




ポイント展

がどんな形かわかるよ。

※こたえは「なじょな」のどこかにあるよ!



「道具とくらしのうつりかわり」 を見ると、この網目のカゴやザル